

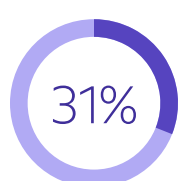
採用プロセスにおける 求職者と採用企業の 認識のずれ



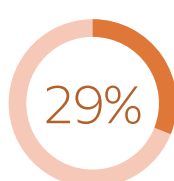
求職者と採用企業は、採用プロセスを非常に異なる視点から捉えることがよくあります。最新の調査「スマートな採用に関する採用市場レポート：採用を困難にする7つの分断を解消」から得られたデータは、両者の見解や経験の主な違いを浮き彫りにしています。

求職者の声

採用企業の声



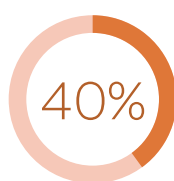
応募数が多すぎて競争が激しいことが最大の課題です。



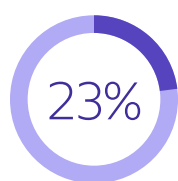
必須のスキルを持った求職者が少ないことが最大の課題です。



求人内容の曖昧さが求職活動における最大の障壁です。



組織内で最も深刻に不足しているスキルは、リーダーシップスキルと人材管理のスキルです。



2週間以内に内定が出ない場合、他の求人を探し始めます。



採用における最大の課題は、競合他社に候補者を奪われることです。

求職者と採用企業が、内定の条件で最も魅力的だと考えている要素とは

柔軟な働き方は、採用企業が考える以上に重視されています。

■ 求職者 ■ 採用企業

ワークライフバランスや柔軟な働き方



基本給



キャリアアップ



福利厚生の実質度



学習や専門能力開発の機会



確立された企業文化や価値観



求職者への質問：複数の内定から選ぶ際、最も重要な決め手は何ですか？採用企業への質問：貴社の提示する内定の条件で候補者にとって最も魅力的だと思う要素はどれですか？